



かさはら

学校だより 6月号
平成29年5月30日
多治見市立笠原小学校

〈学校の教育目標〉 やさしく かしこく たくましく

運動会に向けて取り組んでいます

運動会を春に行うようになって4年目となり、どのタイミングで何をすればよいのかがわかってきました。

今年は17日に代表委員からスローガンの発表がありました。そして本格的な練習を始めました。



朝の活動も運動会の練習が計画的に組まれています。結団式をし、開会式や閉会式の練習や応援団を中心に学級ごとの応援練習を行いました。25日、26日はあいにくの雨でしたが、体育館で赤と白がそれぞれ全員がそろって練習をすることができました。全員で合わせてできるように何度も練習を繰り返していました。本番まで練習を繰り返し、当日はしっかりそろった応援合戦を期待しています。



春の運動会では、仲間と一緒に活動することの大切さを知ったり、成し遂げた後の喜びや充実感を味わったりすることがねらいとなります。新しい学年・学級になって2か月弱。運動会への取組を通して、学級を作り上げていきます。また、これまでの学習で身に付けた力を発揮する場にもしたいと考えています。1・2年のダンス、3年のフラフープを使った運動、4年のボール運動、5年のソーラン、6年の組体操。どの演技も曲や振り付けは違っても内容は同じです。昨年度憧れをもって見ていた演技を自分たちがすることで、1学年上がったことを自覚し、これからの生活に活かしていけるものと思います。

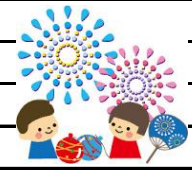
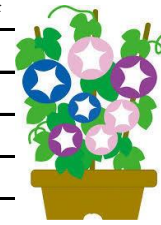
今年度の運動会は、**6月3日(土) 9時**より行います。

ご家族、地域でお誘い合わせてお越しください。笠原地区の多くの方に子どもたちの頑張る姿を見ていただければと思います。

雨天の場合は、順延となっております。5日まで予備日を考えておりますので、6日も給食はありません。また、天候によっては予定より競技の時間を早めて行うこともありますので、ご承知おきください。

行 事 予 定

日	曜日	6月の行事予定	日	曜日	7月の行事予定(仮)
1	木	P挨拶運動、運動会全校練習	1	土	
2	金	運動会準備(午後)	2	日	
3	土	運動会(雨天順延)	3	月	P挨拶運動、家庭訪問④
4	日		4	火	家庭訪問⑤
5	月	振替休業日	5	水	
6	火	弁当持参(給食カット)	6	木	
7	水	なかよしW、耳鼻科検診(3年)	7	金	第1回運営指導委員会
8	木	スポーツテスト	8	土	
9	金	血液検査(5年)、 ノー残業デー(変更)	9	日	
10	土	笠原校区わたしの主張大会 (アザレアホール10:00~12:00)	10	月	
11	日		11	火	特別児童英検(4~6年)
12	月		12	水	
13	火		13	木	
14	水	P研修委親子英会話①	14	金	みんなで学校へ行こうの日
15	木	みんなで学校へ行こうの日	15	土	
16	金	いい歯の日、給食参観、給食試食会	16	日	ノーテレビ・ノーゲームデー
17	土		17	月	海の日
18	日	資源回収、ノーテレビ・ノーゲームデー	18	火	いい歯の日、ノー残業デー
19	月	プール開き	19	水	
20	火		20	木	集会
21	水		21	金	夏休み(~8/28)
22	木		22	土	
23	金	アルミ缶回収、学校評議員会	23	日	
24	土	わたしの主張2017市大会	24	月	保育園読み聞かせ①
25	日	資源回収予備日	25	火	
26	月	市教研、集団下校13:20	26	水	保育園読み聞かせ②
27	火		27	木	保育園読み聞かせ③
28	水	家庭訪問① ノー残業デー	28	金	保育園読み聞かせ④
29	木	家庭訪問②	29	土	
30	金	家庭訪問③、P本部役員会	30	日	
31	土		31	月	



5月 ちょっと待つ とにかく一息待つ

教育推進課

親が子どもに説教しようと思ったら、何時間だってできます。でも何か言いたくなかったときに、そこで5秒待つんです。「早くしなさい!」「それはダメッ!」と子どもに言うのを、5秒でも10秒でも待っていたら、子どもは何かおもしろいことをします。

スタニスラフスキーの『俳優授業』にはこんなことが書いてあります。演出家が俳優に歩いてみるように指示して、そばから「そんな風に歩く人があると思うのかね?」とか「重心をとって」とか「行く手に目をやって」とか言うんです。そうすると俳優はだんだんコチコチになって、動けなくなる。つまり、正しいことを立て続けに言うと、人間は動けなくなるのです。

それと同じで、人を育てるときも、何も正しいことを言えばいいわけじゃない。親子でも、冷たい目で見られて正しいことばかり言われたら、絶対たまらないですよ。子どもには、正しいことをパッパッと言った方がいい、と思うのは、親がちょっとあせりすぎなのと、指導・助言する立場の方が楽だからです。それだとエネルギーが要らない。逆に子どもの方から出てくるものを待つのは、すごくエネルギーが必要です。とにかく一息待つ。

(河合隼雄『こころの子育て』より)